

「町内会・自治会からの質問・意見」に対する回答一覧

番号	項目	質問・意見内容	担当課所	回答内容
1	交通標識の改善	交通標識の管理について改善願いたいと考えています。 町内会の交通標識が破損している物があります。その標識を直して欲しい。	環境政策課	道路に設置されております交通標識につきましては、町が管理する警戒標識（黄色）と北海道公安委員会が管理する規制標識（赤色）がございます。 町が管理する警戒標識につきましては、職員による巡回や随時町民からのご連絡のほか、毎年、町内会・自治会から要望書を提出いただき、状況確認の上、対応しております。 簡易なものは職員により対応し、工事が必要なものについては、緊急性等を考慮して、予算の範囲内で実施しております。 また、北海道公安委員会が管理する規制標識につきましても、毎年、町内会・自治会から要望書をいただいておりますので、栗山警察署を通して公安委員会へ要望しております。 要望への対応内容については、各町内会・自治会に報告させていただきたいと思っております。 なお、今回、ご連絡いただきました交通標識につきましては、先日状況を確認しましたので、早急に対応します。
	町広報の見直し	町広報の配布方法について見直し願いたいと考えています。 町広報以外にお知らせのチラシを配布して欲しいと来るが、町広報と同様に各戸に配布できないか。	総務課	新型コロナウイルス感染症対策に係るチラシにつきましては、国や北海道の対策を受けて、本町の感染対策について、一早く町民の皆さんにお知らせしなければならない内容であります。 これまでも4月20日にワクチン接種に関するチラシ、5月15日に緊急事態宣言に関するチラシ、5月30日に宣言延長、6月19日に宣言解除のチラシと、矢継ぎ早に4回お願いしているところであります。 お手数をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。
2	ヤングケアラーの実態	ヤングケアラーの実態を知りたい。	福祉課	本町におけるケアラーの実態は、昨年実施した調査結果では、回答があった世帯の約19%に、家族や身の回りの人を介護・看病しているケアラーが存在する結果となっております。 また、ケアに協力してくれる人のうち18歳未満の割合は約5%であり、協力内容は「買い物」、「話し相手」、「家事」、「草取り」などとなっております。 今年4月に公表された全国規模のヤングケアラーの実態に関する調査報告書では、中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%が世話をする家族が「いる」と回答されています。 現時点では、本町におけるヤングケアラーの詳細な実態は把握しておりませんが、今後、福祉課と教育委員会とが連携し、実態把握に努めてまいります。
	道営住宅団地の跡地利用	道営住宅団地の跡地利用はどうなっているのか。	建設課	現在、町公営住宅につきましては、長寿命化計画に基づき老朽化した住宅の建替事業を進めており、本年度および令和4年度につきましては中央団地の移転建て替え、その後においては、継立団地、中里団地の建替を順次計画しているところであります。 お問い合わせの「どうえい団地の跡地利用」についてですが、今のところ、中里団地建替に伴う一部移転先の用地として計画しております。
3	連絡通路天井の修繕	カルチャープラザ「Eki」連絡通路天井について、町として、復旧は促さないのでしょうか。	建設課	カルチャープラザの自由通路につきましては、天井からの雨漏りにより通行されている方には、大変ご迷惑をおかけしているところであります。 この自由通路の修繕につきましては、当面の応急処置として、通行に支障がないよう天井全面にビニールを貼り雨水を1か所で集約するなどの工事を6月30日に発注予定で、工事完成の9月末を目指し修繕を進めてまいります。 また、自由通路屋上の本格的な防水工事については、JRの軌道上ということもあり、できるだけ早い時期に工事着手できるようJRとの協議を進めてまいります。
	公共施設の管理	公共施設の管理メンテナンスの予定について。 公共施設で一部修繕が必要ではないかと思う所があります。公共施設の修繕の計画等があるのでしょうか。	経営企画課	町では、公共施設全体の維持管理に関する基本方針を定めた「公共施設等総合管理計画」、また、各施設ごとの維持管理・修繕に係る対策内容などを定めた「個別施設計画」を策定しております。 これらの計画においては、施設の長寿命化を図ることを前提に、施設の巡視・点検を徹底し、破損箇所があった場合は適切に修繕を行うこととしております。 しかしながら、限られた予算の中で対応する必要があることから、基本的には、利用者の安全性確保かつ緊急性の高い修繕を優先して実施している現状にあります。